

2024年10月17日
損害保険ジャパン株式会社

損保ジャパンがCOP29へ参加、ジャパン・パビリオンのセミナーに登壇

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は2024年11月11日～11月22日にアゼルバイジャン共和国・バクー市で開催される「国連気候変動枠組条約第29回締約国会議（COP29）」に参加します。日本政府がCOP29に設ける「ジャパン・パビリオン」において、環境省が主催するセミナーに、損保ジャパン 海上保険部 課長代理 矢野敬祐が登壇します。

損保ジャパンは、気候変動の影響を軽減し、かけがいのない地球環境を未来に引き継ぐため、GHG^{※1}排出量を衛星画像で解析する技術による保険商品やメタン漏えい検知サービスの開発^{※2}を進めるなど、カーボンニュートラル社会の実現に努めています。

セミナーでは温室効果ガス観測技術衛星（Greenhouse gases Observing SATellite：GOSAT）^{※3}から取得したデータのビジネスへの活用に向けた議論を行います。企業のニーズはメタン漏えい検知から、事故の防止、対応、再発防止策のリスクマネジメントに関する支援など多岐にわたるため、損保ジャパンは実効性のある保険商品やサービスが具体的な企業の行動促進につながる可能性について講演する予定です。

※1 温室効果ガス（Greenhouse Gas）の略称です。主な温室効果ガスには、二酸化炭素（CO₂）やメタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、フロンガスがあります。

※2 GHG排出量を衛星画像で解析する Momentick 社との実証実験の開始（2024年6月6日ニュースリリース）メタン漏えい検知のほか、今後は二酸化炭素の排出を衛星画像から解析する実証実験を進める想定です。
https://www.sompo-japan.co.jp/-/media/SJNK/files/news/2024/20240606_1.pdf

※3 二酸化炭素とメタンの濃度を宇宙から観測することを専門とした世界初の人工衛星

【セミナー概要】

開催日：2024年11月14日 15時45分～17時00分（現地時間）

会場：COP29 ジャパン・パビリオン

主催：環境省

テーマ：GOSATの新たな展開：日本版GHGセンターとビジネスへの活用と適応

登壇者：松澤 裕環境省 地球環境審議官の開会挨拶を始め、NASA（アメリカ航空宇宙局）、国立環境研究所、海洋研究開発機構のほか、損保ジャパンなど衛星データのビジネス活用を進める複数社の民間企業が登壇を予定。

環境省 COP29 ジャパン・パビリオン オフィシャルサイト

<https://www.env.go.jp/earth/cop/cop29/pavilion/>

<https://www.env.go.jp/earth/cop/cop29/pavilion/exhibition/details/016/>

損保ジャパンはCOP29の場を活用して各国の政府・企業・自治体・NGO等に、具体的なGHG排出削減行動につながる保険商品、サービスの開発および普及について訴求し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

<COP29 ジャパン・パビリオン パースイメージ>



以上